

安足地域 ～風は南南西 夢と希望のもてる活力ある安足地域の農業・農村～



地域農業の現状と課題

安足地域は、渡良瀬川沿岸に広がる南部の平坦な地域と足尾山地の山並みを背に広がる北部の中山間地域に区分され、平坦な耕地では、古くから米麦による二毛作が行われているほか、本県のいちご栽培発祥の地としても知られるように、いちごをはじめ、トマト、トルコギキョウなどの園芸が盛んに営まれており、また、中山間地域では、そばや米、野菜などが栽培されています。

一方で、農業を担う人材不足とともに産地の衰退が懸念されており、さらに、鳥獣被害の問題も重なり、農業生産活動の意欲低下や農村環境の保安全管理が困難な状況もみられるようになってきています。

こうした中、新たに農地整備に取り組もうとする地域の増加が見込まれており、担い手への農地集積・集約化による経営の効率化や土地利用型園芸等の生産拡大への取組が求められています。

また、中山間地域を中心に進行する高齢化や人口減少により、農地の保全等への影響が懸念されていることから、安足地域ならではの地域資源を生かした地域住民と都市住民の交流をより一層進める必要があります。

計画の推進方向

- 地域農業を支える新たな人材の確保・定着
- 施設園芸産地の発展を担う収益力の高い経営体の育成
- 効率的な米麦や露地野菜生産による収益性の高い水田農業の実現
- 農村の活性化と農村地域の防災力の向上

地域戦略1 人材育成と先端技術の活用による安足園芸の発展

就農相談から営農定着までを一貫して支援する体制の充実や就農関連情報の発信強化を進め、新規就農者の確保・育成を図ります。また、新品種の導入や先端技術の活用、分業体制の構築等により稼げる産地づくりを進めます。

項目	現状(2019年)	目標(2025年)
主要園芸品目の新規就農者数	36人/5年間	45人/5年間
主要園芸品目の中核経営体数	28経営体	33経営体
先端技術導入割合(経営体)	26.2% (59経営体)	36% (81経営体)



新規就農塾での受講風景

主な取組

- ◆ 就農情報の発信強化のほか、新規就農塾の受講対象品目の拡大や就農後のフォローアップ活動等の支援
- ◆ 就農支援ネットワーク会議を中心とした地域の経営資源(農地や施設・機械)の把握と新規就農希望者への円滑な継承支援
- ◆ 環境制御装置等の先端技術の導入と管理の省力化・効率化の推進
- ◆ 適切な労務管理による働きやすい環境づくりへの支援と育苗や出荷調整作業の軽減につながる施設整備の推進
- ◆ 果樹の早期成園化技術や地域に適した品種の導入による新植や老木園の改植の推進

地域戦略2 安足地域の収益性の高い水田農業の実現

水田の大区画化や汎用化を進め、意欲ある担い手が効率的な営農を展開できるよう農地の集積・集約化を促進します。さらに、ICT等の技術を活用した省力化や露地野菜等の高収益作物の導入及び食品企業と連携した麦等の生産拡大により、経営の規模拡大や複合化を進め、水田農業の収益向上を図ります。

項目	現状(2019年)	目標(2025年)
50a区画以上の整備面積	67ha	110ha
新規導入・拡大推進作物(水田露地野菜・新規需要米・機能性大麦)の作付面積	766.5ha	1,000ha
土地利用型を主とする中核経営体数	4経営体	6経営体



基盤整備を待つ馬門地区

主な取組

- ◆ 水田の大区画化や汎用化など担い手が使いやすい生産基盤の整備
- ◆ GPS搭載農業機械やドローン等のスマート農業機器の活用による省力化・効率化の推進
- ◆ 中核となる土地利用型経営体に加え、複合経営体や農業協同組合出資型法人等、水田を担う多様な経営体への農地の集積・集約化の促進
- ◆ 個別診断に基づく経営シミュレーションを活用した露地野菜等の導入及び生産拡大の推進
- ◆ 健康機能性等の特徴を持つ麦の導入促進と栽培技術の普及による高品質安定生産の支援

地域戦略3 元気はとちぎの“安足”から にぎわう農村づくり

地域活動の核となる人材・組織を育成するとともに、観光・商業施設等とも連携した都市農村交流活動の展開や農村の魅力の発信強化による関係人口の拡大を図ります。また、集落営農組織の体質強化や農村環境の保全活動、鳥獣被害対策を支援するとともに、農村地域の防災力向上を図り、安心して営農を続けられる元気でにぎわう農村づくりを進めます。

項目	現状(2019年)	目標(2025年)
農産物直売所や農村レストラン等の利用者数	173万人	180万人
農産物直売所の販売額	15.0億円	16.0億円
鳥獣による農作物の被害額	704.7万円	490万円
多様な人材が参画する集落営農組織数	—	2組織



継承される農村の祭り

主な取組

- ◆ 地域の魅力発信による農村ファン拡大と地域全体での受入体制づくりに向けた取組への支援や観光・商業施設等とも連携した都市農村交流活動の積極的な展開
- ◆ 新しい生活様式も踏まえた、交流施設における顧客サービスの向上やテレワーク等の新しい働き方を希望する都市住民の受入れ推進
- ◆ 地域内外の多様な人材の参画等により、地域農業を支える集落営農組織の体質強化を支援
- ◆ 地域づくり団体や地域内外の企業・福祉施設等との連携による農村環境保全活動の支援
- ◆ 鳥獣被害にあいにくい作物の安定生産・拡大に加え、ICT箱罫等の活用や捕獲技術の継承及び鳥獣被害対策実施隊など地域住民協働による取組への支援
- ◆ 農村地域の防災力向上に向け、ため池や排水機場等の管理者への適切な維持管理方法の指導と地震・豪雨耐性調査等に基づく必要な補強対策の支援

地域戦略一覧

地 域	地 域 戦 略
河 内	地域戦略1 地域が育てるかわちの担い手、地域を支える農業基盤づくり
	地域戦略2 「イノベーション5」による園芸立国かわちの実現
	地域戦略3 伝えよう、つなげよう!河内地域の農村活力向上
上都賀	地域戦略1 上都賀地域の強みを伸ばす「施設園芸経営体の所得向上」
	地域戦略2 地域連携と超省力化による「収益性の高い上都賀型水田農業の確立」
	地域戦略3 持続可能な上都賀地域の農業・農村の形成
芳 賀	地域戦略1 「日本一のいちご産地」を次代へ ～「100年産地」への礎を築く～
	地域戦略2 有利な土地条件を生かした大規模経営体の育成
	地域戦略3 多様な立地条件を生かした多彩で高収益な農業の展開
	地域戦略4 地域の付加価値の向上による農村関係人口の創出・拡大
下都賀	地域戦略1 県内園芸をリードする園芸産地の振興
	地域戦略2 土地利用型経営体による持続的水田農業の展開
塩谷南那須	地域戦略1 地域農業の今を支え未来を担う人づくり
	地域戦略2 技術力と販売力で目指す稼げる農業
	地域戦略3 交流と連携による塩南の元気創出
那 須	地域戦略1 那須野ヶ原水田農業の確立
	地域戦略2 那須地域における持続可能な畜産経営への取組「畜産力の強化」
	地域戦略3 地域資源を生かした農村地域の活性化
安 足	地域戦略1 人材育成と先端技術の活用による安定園芸の発展
	地域戦略2 安定地域の収益性の高い水田農業の実現
	地域戦略3 元気はとちぎの“安定”から にぎわう農村づくり